

各部先生からの報告

土曜講座より

土曜講座主任 上田欣人

今年度の土曜講座を振り返ってみます。1学期4回、2学期4回、3学期2回の合計10回行いました。

4月には、『世界がもし1000人の村だったら』の編者として有名な池田香代子氏の講演会を行いました。年間100回を超える講演会を行ったり、「世界平和アピール七人委員会」のメンバーとして社会運動や平和運動の面でも大いに活躍している池田氏の話はとても印象に残っています。

12月には、本校では初めての「雅楽鑑賞会」を開きました。生徒だけでなく約170名の保護者にも参加していただいて、素晴らしい鑑賞会になりました。最後には演奏体験もあり、雅楽で使われる楽器の演奏に挑戦した生徒にとっては貴重な経験になったと思います。

外来講師による講座も充実していました。大学教授による講座、本校卒業生による小児科医・獣医・公認会計士・弁護士・税理士・作家などの職業研究講座、また、「言葉のパワー」「心理学」「デザイナーの世界」「味覚情報処理とミラクリン」「フランス語」「スペイン語」「ロボットアームの設計」「プログラミング」「アフリカ」「アロマ」「救急救命講習」「手芸」「料理」など、本当に様々な講座を開講していただきました。本校の先生方による学習講

座も生徒諸君にとってはとても充実した内容だったと思います。授業だけでは得られない知識を身に付けたり、普段の生活では体験できないことを仲間と一緒に体験できることが土曜講座の魅力のひとつです。これから多くの生徒が土曜講座に参加してくれることを願っています。

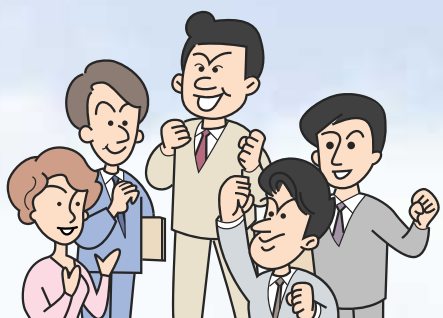


進路指導部より

進路指導主任 杉浦謙一

早いもので、今年度も授業は終了し定期検査を残すのみとなりました。皆さんにとってこの1年間に学習面で何か向上、進歩したことはありませんか？ こうした年月を積み重ねて高校3年生は卒業していきます。彼らはこの6年間、または3年間を過ごした滝学園に対してどんな思いを抱いてこの学園を巣立っていくのでしょうか。高校3年生にとってこの時期というのは、私立大学第1志望の一部の人は進路も確定しており、卒業式はどっぶりと感じるものですが、大部分の国公立大学第1志望の人は、前期試験は終了しているものの、その

結果待ち、さらには中期、後期試験も控えており、進路未確定の微妙な時期にあたります。この時期に進路が確定していないことは仕方のないことですが、皆さんが来年または、数年後にこの滝学園をより多くの数え切れない思い出とともに卒業するためにも、友人と共に語り、放課後に部活動に熱中し、そして何よりも志望校合格を夢見て、自分の可能性を信じて最後まで受験に立ち向かっていく、日々充実した学校生活を送ることの大切さを今一度再確認してもらいたいと思います。



保健厚生より

保健・厚生主任 後藤 文彦

「ゴミは、分別してゴミ箱に！」当たり前なのですが、意外とできていません。基本的なことですが、君たちなら、その気になればできると信じています。

生徒会活動について

滝中学校生徒会総務 井戸康貴

中学・高校にはさまざまな生徒会行事があります。中学であれば、文化発表会・体育大会を始め、長縄跳び大会、カルタ大会、球技大会など。高校であれば、文化祭・体育祭や球技大会など。これらの行事を多くの方が楽しんでくれたと思うのですが、忘れてほしくないことがあります。それは、これらの行事の裏方として、各委員会や生徒会執行部の生徒が一所懸命に動いてくれたことです。

例えば、中学文化発表会するとき、トイレや廊下・手洗い場などで汚れている箇所が多くありました。このままではお客さんに見せるのに失礼ということで、生徒会執行部や中高合同企画の生徒がきれいに清掃してくれました。大変助かったことを覚えてください。また、1月に中学校であったカルタ大会では、文化委員がカルタの枚数確認、得点板の作成などをしてくれました。彼らの仕事のほか、カルタ大会を無事行うことができました。生徒会



活動は、はっきり言って、目立つものではありません。地味で目立たない裏方の作業がほとんどです。しかし、そういったものなくして、行事のスムーズな進行や成功はありえないと思います。今後とも、さまざまな生徒会行事が行われます。その際に、裏方として頑張ってくれた生徒に思いをはせてくれると、大変うれしく思います。

生活指導部より

生活指導部長 井上邦雄

「電車内・駅構内編」大声を出す。席にカバンを置く。乗降口にかたまる。座り込む。カバンを置く。足を組んで態度がでない！はあー！注意すると態度が良くない！はあー！ものを食べる(特にアイスクリームが一番の標的)ゴミを捨てる。降りるときに押されて転倒した！はあー！「通学路編」自転車による接触。赤信号でも渡り続ける。2人乗り、併走(それも3列)、スピードの出し過ぎ。一時停止違反。歩道一杯広がって歩く。「バス車内編」耳からひもを出して寝たふりキンチョール。お年寄りに席を譲らない。まだまだ続く「電車内・駅構内番外編」構内のトイレにペーパーを突っ込み遊んでいる。「通学路番外編」家の壁を叩いていく。「超番外編」お店のテーブルの下で注文もしないで4〜5人で何かやっている。なんだかわかりません。今日現在、28件私の所に入った苦情の内容です。心あたりのある人も数名あると思います。受話器を取るたびに、先生方は「ナーニー」と心で叫びながらも落ち着

いて対応して頂いていますが、無くなりません。行動のもとにあるのは一部の皆さんの心です。今、私は山岡荘八の徳川家康「全二十六巻」を読んでいます。現在十一巻かな。家康40歳になろうとする彼の生涯で、じっと見つめてきた人間の姿には、およそ4つの面があった。その2つは欠点、後の2つが美点であれば上々の人間で、欠点3に美点1の者が多い。と言って、一つの美点もない人間は存在せず、それは見る者が発見の努力を怠っているからだと思っている。従って人と人との争いはその欠点の衝突に始まり、人と人との和合は美点のふれ合うところに生まれていく。確かに。 追伸

特に電車内・駅構内にゴミを捨てるのはやめよう。

こんなことを終業式で話させて頂きました。滝学園は文武両道(武とは凶刃をかざして乱をなすことでない。どこまでも戈を止むる平和の支えでなければならぬはず……)

天候に恵まれたスキー実習

高校2年生は、1月6日から9日までスキー実習に行ってきました。場所は志賀高原横手山スキー場です。今シーズン当初は雪が少なく、積雪量が心配されましたが、年末にまとまった降雪があり、抜群のコンディションの中で実習を行うことができました。

2日目と3日目は天候に恵まれ、まさしく快晴のもと、絶景を堪能しながらの実習となりました。標高2305mの横手山山頂からは、浅間山、北アルプスなどを遠望することができました。2日目には遠く富士山を眺め



ることもできました。これほどの好天が2日間も続くことは大変珍しく、本当に幸運でした。

スキー初心者の生徒も数多くいましたが、3日目ともなると、ボーゲンで難なく滑り降りてこられるようになっていました。また、中級者、上級者はインストラクターの指導の下、綺麗な滑りができるようになっていきました。

今回の実習では、体調不良等で実習に参加できないという生徒の数も非常に少なく、ほとんどの生徒が積極的に、意欲的に実習に参加することができました。こつて無事に快適な実習ができたのも、付き添いの先生方、添乗員の方、ホテルのスタッフの方のおかげと感謝しています。